

2026年10月23日

インフォメティス株式会社

インフォメティス、「BridgeLAB DR」の販売拡大に向けENECHANGEと提携**～小売電気事業者との幅広い取引基盤を活用し、新規顧客の開拓を加速～**

インフォメティス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：只野 太郎、以下「当社」）は、ENECHANGE株式会社（本社：東京都港区、代表取締役CEO：丸岡 智也、以下「ENECHANGE」）と、当社が提供する小売電気事業者向けデマンドレスポンス（DR）支援サービス「BridgeLAB DR」の販売拡大に向けた提携について合意し、契約を締結しましたので、お知らせいたします。

本提携では、ENECHANGEが有する小売電気事業者との幅広い取引基盤を通じて顧客との接点を拡大し、当社が「BridgeLAB DR」の提案・販売を行います。両社の連携により、新規顧客の開拓とサービスの普及を加速してまいります。

■ 背景と取組みの最終段落

小売電気事業者にとって、容量抛出金への対応や、卸電力市場の価格変動を踏まえた電力調達コストの抑制は、重要な経営課題となっています。こうした課題への対応策として、需要家の電力使用のタイミングを柔軟に調整するDRの活用が広がっています。

当社は、電力データ解析技術とAIを活用した「BridgeLAB DR」を通じて、小売電気事業者による需要家向けDR施策を支援しています。各事業者の課題に応じた提案や機能・サービスの拡充を進め、2026年10月15日に公表した累計申込社数は30社を超えています。

一方、国内の登録小売電気事業者数は、2026年9月30日時点で823事業者に上り（※）、当社は「BridgeLAB DR」の提供先をさらに拡大する余地があると考えています。こうした幅広い事業者へのアプローチを加速するためには、当社独自の営業活動に加え、既に小売電気事業者との接点を持つパートナー企業との連携が重要です。

ENECHANGEは、電力・ガスの比較・切替サービスによる顧客獲得支援や、電力事業のデジタル化を支えるシステムの提供などを通じて、小売電気事業者との幅広い取引基盤を築いています。

当社とENECHANGEは、2025年5月にDR及び需要家向けサービスの相互連携に関する覚書を締結し、協業を進めてきました。2026年2月には、ENECHANGEの「マイエネルギーレポート」に、スマートメーターの電力データから家電ごとの電力使用量の内訳を推定する当社のAI家電分離技術「NILM Lite」が採用されています。

今回の提携では、これまでの協業を基盤に、ENECHANGEが培ってきた小売電気事業者との取引関係を活かし、当社による「BridgeLAB DR」の提案・販売につなげます。ENECHANGEの

顧客接点を通じて商談機会を広げることで、新規顧客の開拓と導入促進を加速してまいります。

※出典：資源エネルギー庁ホームページ、「登録小売電気事業者一覧」（2026年9月30日現在）

■ 今後について

当社は、本提携を通じて「BridgeLAB DR」の普及を進めるとともに、小売電気事業者のニーズに応じた機能・サービスの拡充に取り組めます。

今後も、当社の電力データ解析技術・AIとパートナー企業の事業基盤を組み合わせ、小売電気事業者の収益性向上と需給運用の高度化を支援することで、電力需給の安定化と再生可能エネルギーの有効活用に貢献してまいります。

■ インフォメティス株式会社について

インフォメティスは「エネルギーデータの力で、暮らしの未来を変えていく。」をミッションに、[エネルギー × AI] をコア技術としたエネルギー最適化ソリューションを提供しています。

- **所在地**：東京都港区芝大門1-12-16 住友芝大門ビル2号館
- **代表者**：代表取締役社長 只野 太郎
- **上場市場**：東証グロース市場（証券コード281A）
- **URL**：<https://www.informetis.com/>